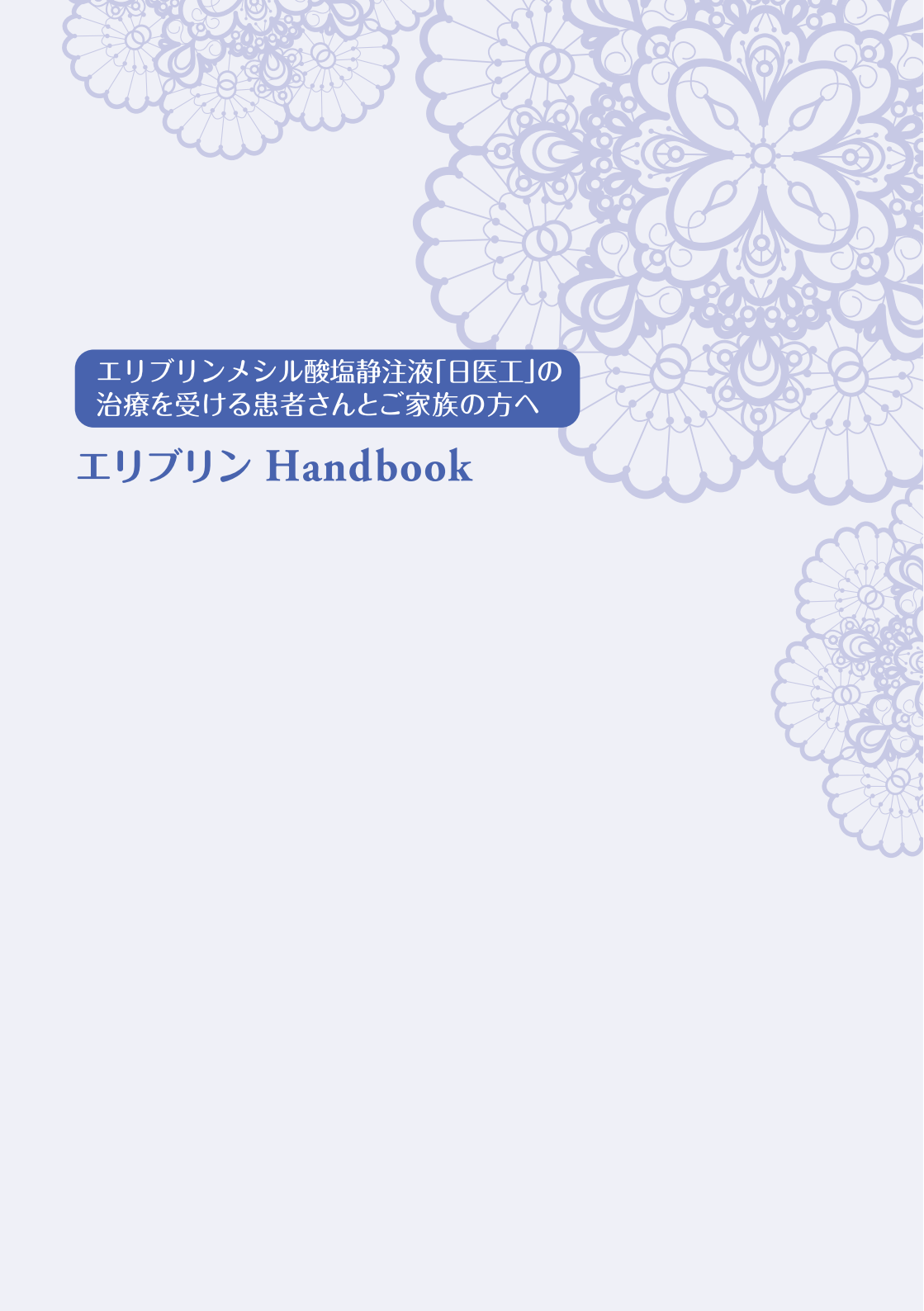




エリブリンメシル酸塩静注液「日医工」の
治療を受ける患者さんご家族の方へ

エリブリン Handbook



エリブリンメシル酸塩静注液「日医工」の治療を受ける 患者さんご家族の方へ ～ともにがんと向き合うために～

がんの治療は急速に進歩し、治療にもいくつもの選択肢があります。自分にあった治療を選択し、病気と上手につきあうことも大切です。そのためには、患者さんやご家族の方にもお薬の特徴を理解していただき、医療スタッフとともに治療に取り組んでいただきたいと思います。

この冊子は、エリブリンの治療を受ける方にお薬のことをよく知っていただくために、投与方法、主な副作用とその対処方法、日常生活で注意していただきたいことなどをまとめたものです。

わからないことや心配なこと、もっと知りたいことなどがありましたら、遠慮なく担当の医師、看護師、薬剤師にご相談ください。

あなたやあなたのご家族が充実した日常生活を送っていただけることを心から願っています。

監修

昭和医科大学医学部 乳腺外科 特任教授

中村 清吾 先生

CONTENTS

治療をはじめる前に

I. エリブリンの治療について

エリブリンはどのようなお薬ですか？

コラム：エリブリンはがん細胞にどのように働くの？

エリブリンの治療を受けられる方は？

エリブリンの投与スケジュールは？

投与中に気をつけることは？

II. 副作用と対処法

副作用とその対処について

骨髄抑制による感染症

末梢神経障害(手足のしびれなど)

吐き気・食欲低下

口内炎

下痢・便秘

疲労感(だるさ)、その他の副作用(脱毛、味覚異常)

肝機能障害、間質性肺炎

III. がんと上手につきあうために

治療中の体調を記録しましょう

社会のサポートも活用しましょう

ご家族やあなたを支えてくれる方へ

治療をしながら仕事を続けるときに

高額療養費制度を活用しましょう

すぐに連絡していただきたい症状は

治療をはじめる前に

エリブリンの治療を安全に行うために、注意していただきたいことがあります。

下記について、心当たりがある方は、あらかじめ担当の医師、看護師、薬剤師にお伝えください。

- 現在、服用しているお薬（市販薬も含む）や、サプリメントがある。
- 現在、他の医師や歯科医師にかかっている、またはこれからかかろうとしている。
- 以前にお薬や注射の治療を受けて、発疹やかゆみなどが出たことがある。
- 妊娠している、または妊娠している可能性がある。

わからないことがありましたら、担当の医師、看護師、薬剤師にご相談ください。



エリブリンはどのようなお薬ですか？

■ 天然物からうまれた新しいタイプの抗がん剤です

エリブリンは、クロイソカイメンという海綿動物から抽出した天然物がもつ抗がん作用に着目し、日本で開発された抗がん剤です。

■ がん細胞の分裂を止めて、増殖を抑えます

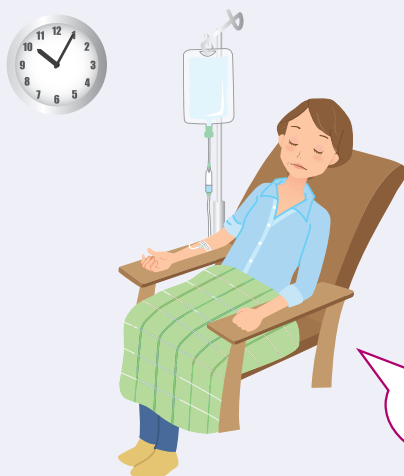
がん細胞は、分裂と増殖をどこまでもくり返し、全身に広がっていく性質があります。

エリブリンは、**がん細胞の分裂を止めて**、増殖を抑える抗がん剤です。

■ 1回の投与は、5分程度の注射または点滴投与です

エリブリンは、**週に1回**注射または点滴します。**投与時間は2～5分程度**であり、通院で治療を続けられ、日常生活への負担も少ないと考えられます。

※詳しい投与スケジュールは9ページをご参照ください。



1回の投与は
2～5分！

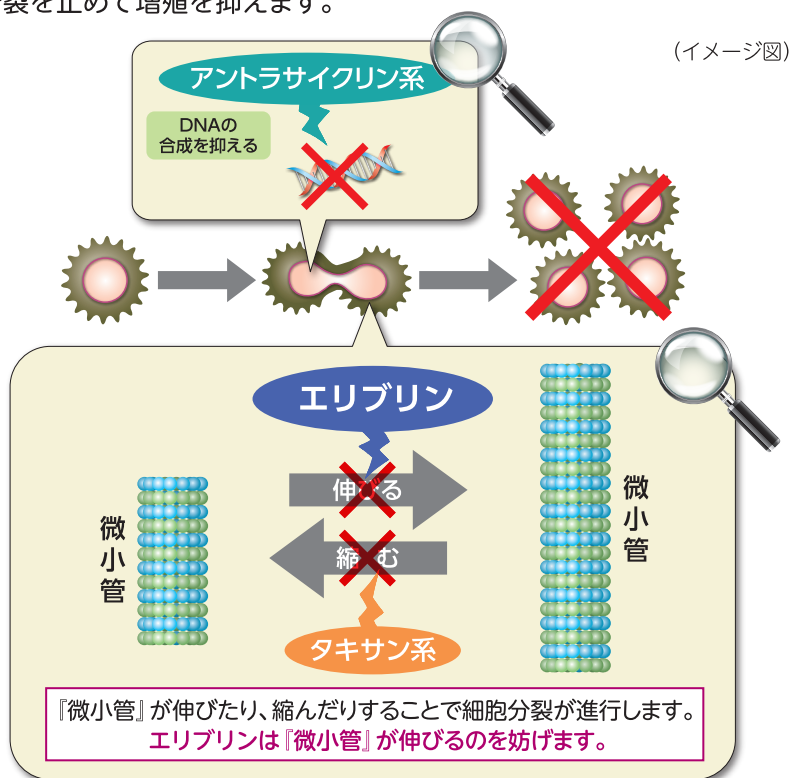


エリブリンはがん細胞にどのように働くの？

がんの治療に使われる抗がん剤にはいくつかのタイプがあり、異なる働きでがん細胞の増殖を抑えます。

例えば、アントラサイクリン系抗がん剤は、がん細胞が分裂・増殖する際のDNAの合成（細胞情報の複製）を抑えて、増殖を抑えます。

エリブリンやタキサン系抗がん剤は **がん細胞の分裂に欠かせない『微小管』の働きを抑えます**。がん細胞は『微小管』が伸びたり、縮んだりすることで分裂します。エリブリンは『微小管』が伸びるのを妨げ、タキサン系抗がん剤は『微小管』が縮むのを妨げることで、がん細胞の分裂を止めて増殖を抑えます。



エリブリンの治療を受けられる方は？

☒ エリブリンの治療を受けることができる方は

進行または再発乳がんの方

ただし、抗がん剤の治療を受けたことがある方が対象となります。

* エリブリンの治療を受けられない方は

エリブリンの投与でアレルギー症状があらわれたことがある方、妊娠中または妊娠の可能性のある方は治療を受けることができません。

* エリブリンの治療を注意して受ける必要がある方は

こっすい
骨髓抑制（白血球数減少、好中球数減少）がある方、肝臓の機能が低下している方は、担当の医師の指示のもと、血液検査を行いながら注意して治療を受ける必要があります。



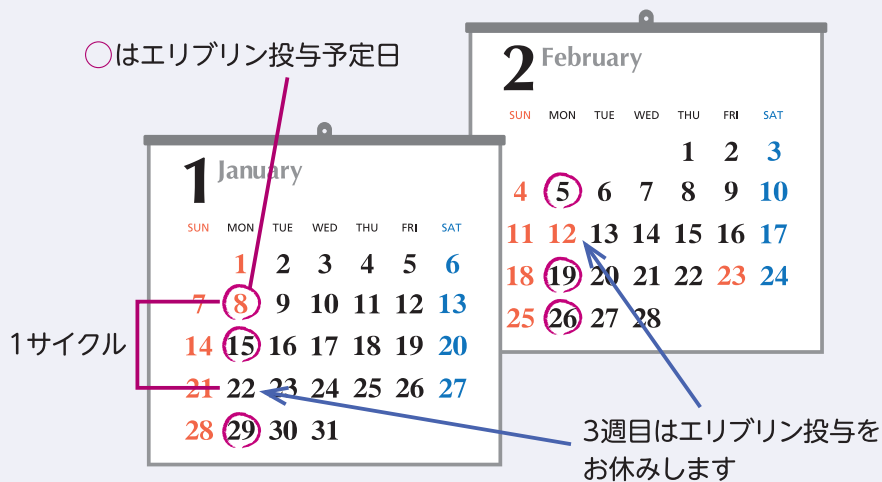
エリブリンの投与スケジュールは？

☐ 週1回、2週連続で投与し、3週目は休薬します

エリブリンは、注射または点滴で2～5分かけて静脈に投与します。投与スケジュールは、**3週間を1サイクル**としています。**週1回の投与を2週間続け、3週目はお休み（休薬）**し、これをくり返します。また、できるだけ安全に治療が継続できるよう、治療中は血液検査の結果や副作用の状況を確認しながら、投与を延期したり、お薬の量を減らしたりして、投与スケジュールを調整します。

エリブリンの投与スケジュールの目安

○はエリブリン投与予定日



2週続けて同じ曜日に病院に行き、3週目はお休みします。
通常3週間のサイクルをくり返します。

投与中に気をつけることは？



投与中は安静にしてください

お薬が血管の外に漏れないよう、投与中は安静にしてください。次のような症状がみられたら、すぐに医師や看護師、薬剤師に知らせてください。

- 注射部位が痛い、焼けるような熱さを感じる
- 注射部位周辺が赤くなる、腫れる



まれにアレルギーを起こすことがあります

まれにアレルギー症状があらわれることがあります。多くは軽い症状ですが、次のような症状がみられたら、近くにいる医師や看護師、薬剤師に知らせてください。

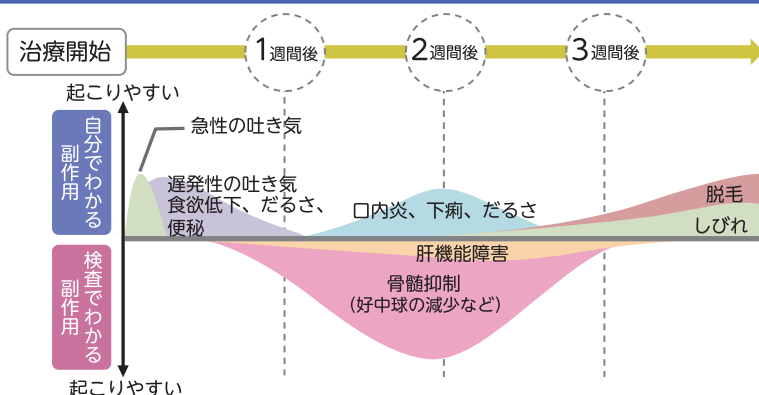
- 寒気がする、冷や汗がでる
- 息苦しい、心臓がドキドキする
- 体がかゆい、発疹がでる



副作用とその対処について

どんな副作用がいつごろ起こるかを知って、**あらかじめ対策を立てておきましょう。**

起こりうる副作用のあらわれやすい時期



ハラヴェン®静注1mg使用成績調査結果報告書2014.2を元に作成
(エリブリンメシル酸塩静注液1mg「日医工」は、ハラヴェン®静注1mgと原料、添加物
および製法などが同一のオーソライズドジェネリック*です。)

知 っておいていただきたいこと

- 副作用には個人差があり、症状や程度、あらわれる時期も人それぞれです。
- 副作用には、自分で気づけるものと、気づけないものがあります。
- 予想される副作用を知っておけば、日頃の注意や工夫により**予防できる場合もあります**。もし副作用があらわれても、**症状の悪化を防ぐことができる場合があります**。
- 副作用があらわれた場合には、お薬の量を減らしたり、次の投与を延期したり、症状を和らげるお薬を使うことで、**副作用をうまくコントロールしながら治療を続けられるようにします**。
- 症状が辛いときや長引くときには、**がまんせず担当の医師や看護師、薬剤師にご相談ください**。

*先発医薬品メーカーの許諾を受けたジェネリック医薬品

骨髄抑制による感染症

エリブリンの投与により、細菌から体を守る役割の白血球や好中球などが減ってしまうと、感染症にかかりやすい状態になります。とくに、好中球が減ってくる**投与後1週間以降**は感染症予防のケアが大切です。



こんな症状があらわれたときには
担当の医師に連絡してください。



38℃以上の発熱



寒気がする



のどの痛みや咳



排尿時の痛み



激しい下痢や腹痛

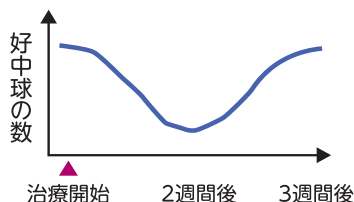
発熱と下痢が同時
に起こった場合は
要注意！

ぶらす

One
Point

好中球の減り方には個人差がありますが、多くの患者さんでは、投与してから2週間後あたりで最も減り、その後は回復していきます。

十分に回復できなかった場合でも、お薬の量を減らしたり、次回の投与を延期したり、好中球を増やすお薬などを使うことで治療を続けることができる場合もあります。

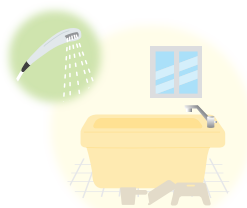


感染症を予防するには

- 石けんで丁寧に手洗いをしましょう。
(食事やお薬の服用前、トイレの前後、帰宅時)

- こまめにうがいをしましょう。
(起床時、食事やお薬の服用前、帰宅時)

- 毎日入浴もしくはシャワーを浴び、
体を清潔に保ちましょう。



- トイレはできるだけ温水洗浄便座を
使用しましょう。



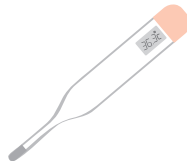
- できるだけ人ごみは避け、外出するとき
にはマスクをつけましょう。



- 風邪をひいている人には近づかないようにしましょう。

- ケガをしないように気をつけましょう。

- 毎日体温を測りましょう。



末梢神経障害(手足のしびれなど)

『手足がしびれる』『力が入らない』などの症状があらわれることがあります。

まっしょう

末梢神経障害があらわれやすい時期は、**投与後1～3ヵ月頃**です。



こんな症状があらわれたときには
担当の医師に連絡してください。



手足のしびれ



指先の痛み

冷たい、熱いといった
感覚が鈍くなる



手足に力が
入らなくなる



症状があるときには

- 足がしびれるときには、転ばないように段差などに気を付けましょう。
- 感覚が鈍いときには、やけどなどしないよう注意しましょう。
- 手足に力が入らないときには、家事などをまわりの方に手伝ってもらいましょう。
- 入浴時のマッサージは、症状を和らげるのに効果的です。

ぷらす



One
Point

手足のしびれや痛みなどのつらい症状を和らげるお薬があります。がまんせず担当の医師や看護師、薬剤師にご相談ください。

吐き気・食欲低下

吐き気は、投与後すぐにあらわれる場合が多いですが、翌日以降にあらわれる場合もあります。

吐き気の予防には

- 治療を受ける日は、食事の量を少なめにしましょう。
- からだを締めつける衣服は避けましょう。



症状があるときには

- 食べたいものを少量ずつ食べましょう。
- 刺激の強いもの、においの強いものは避けましょう。
- 食事ができない場合でも、水分は摂るようにしましょう。
- 冷たい水でうがいをしたり、氷やキャンディーなどを口に含んでみましょう。
- 窓を開け換気をよくして、音楽などでリラックスしましょう。



口内炎

口内炎に対しては、投与前からの口内のケアが重要となります。
口内炎があらわれやすい時期は、**投与後2～10日頃**です。

口内炎の予防には

- 虫歯は前もって治療しておきましょう。
- 日頃から口の中を清潔に保つため、歯磨きや舌のブラッシングを習慣づけましょう。
- 歯ブラシはやわらかいものを使いましょう。
- 熱心に歯磨きをし過ぎると、口の中を傷つけてしまうこともあるので、正しいブラッシングの指導を受けておくとういでしょう。

症状があるときには

- 市販のうがい薬などで症状が悪化してしまうこともあるので、担当の医師や看護師、薬剤師の指導のもとで行いましょう。
- 口内炎があらわれたときには、食事の工夫をするとよいでしょう。

できるだけ薄味

とろみをつける



口の中で簡単につぶせるような
やわらかさ

室温程度にさます

下痢・便秘

下痢や便秘もあらわれることがあります。

下痢には

- 食事は消化の良いものを、少量ずつ、何回かに分けて食べましょう。
- 刺激の強いものは避けましょう。
- 脱水状態にならないように、水分を摂りましょう。温かいお茶や常温のスポーツドリンクなどがよいでしょう。
- トイレの後は肛門の周囲を洗浄して、清潔にしましょう。温水洗浄便座を使用するとよいでしょう。



便秘には

- 食物繊維が多く含まれる食品を摂りましょう。
- 十分に水分を摂りましょう。
- 担当の医師に相談のうえ、適度に運動しましょう。
- 時計まわりにお腹をマッサージすると症状が改善することがあります。



疲労感（だるさ）

『からだのだるい』『疲れやすい』といった疲労感があらわれることがあります。多くの場合、抗がん剤の**投与後2～3日頃**にあらわれますが、その後徐々によくなっていきます。

症状があるときには

- 睡眠や休養を十分にとりましょう。
- 入浴やマッサージで血液やリンパの流れをよくすると、症状が改善することがあります。
- 音楽や散歩など自分なりのリラックス法で、気分転換しましょう。



ぶらす

One Point

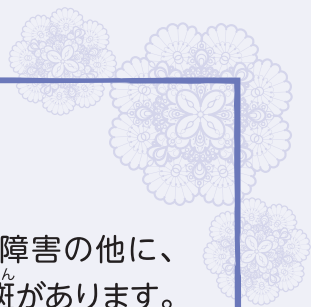
疲労感が強くて仕事や家事が辛いときや、症状が長引くときには担当の医師や看護師、薬剤師にご相談ください。

その他の副作用

脱毛や味覚異常もあらわれることがあります。

脱毛、味覚異常には

- 治療前に髪を短く切っておいたり、帽子やウィッグ、スカーフを用意しておくといいでしょう。
- 味覚が変わってしまった時は、ご家族に協力してもらい、味付けなどを工夫してみましょう。



重大な副作用として骨髄抑制、感染症、末梢神経障害の他に、
肝機能障害、間質性肺炎、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑があります。



こんな症状があらわれたときには
担当の医師に連絡してください。

肝機能 障害



白目や体が黄色くなる



吐き気



体がだるい

自覚症状だけではわかりにくいので、血液検査を忘れずに！

間質性 肺炎



かわいた咳



発熱



息苦しい・息切れ

とくに長びく咳、発熱、息切れなどには要注意！

皮膚粘膜眼症候群 多形紅斑



発熱

眼が赤くなる（充血）
唇、口内がただれる
赤く盛り上がる皮疹

粘膜や皮膚の症状があり、発熱を伴う場合は要注意！

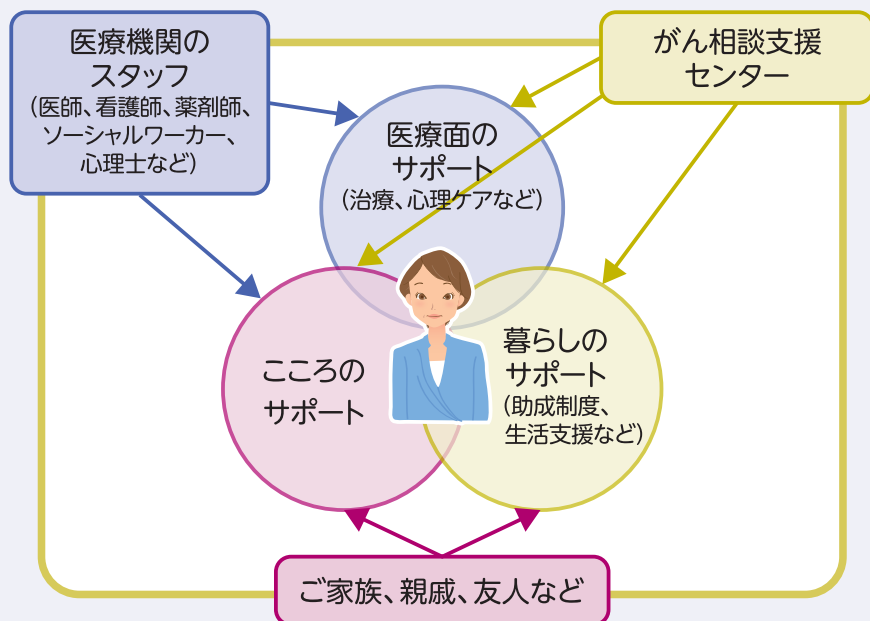
社会のサポートも活用しましょう

■ さまざまな人たちがあなたを支えています

あなたの治療や療養には、医師や看護師、薬剤師をはじめ、**医療機関のさまざまなスタッフ**が関わって支えています。

また、**ご家族や友人**は日常生活のことや心理的な面で支えとなってくれていることでしょう。

それでも、困ったときには、社会のサポートを活用しましょう。地域のがん診療の中心となる病院には「**がん相談支援センター**」があります。ここでは、病気や治療のことだけでなく、今後の療養生活のことなど、がんに関わる質問や相談に応えてくれます。生活支援や助成制度の紹介をしてくれたり、心のケアやご家族のことも相談にのってくれます。



ご家族やあなたを支えてくれる方へ

❑ 患者さん本人から話を聴きましょう

治療が長くなるにつれ、ひとりで受診する患者さんが多くなることがあります。現在の患者さんの状態を理解するためにも、過剰に心配し過ぎないためにも、患者さん本人から医師の説明などを聴くことは大切です。

❑ 必要に応じて、医療者と話し合う機会を持ちましょう

患者さんにご家族と一緒に医師や看護師と話をする機会を持つことは、患者さんの負担を軽くすることにもつながります。

❑ 患者さんがしてほしいことをしてあげましょう

ご家族からの支援は何よりも心強いものですが、もしかしたらご家族がしてあげたいと思うことと、患者さんがしてほしいと思っていることは違うこともあります。そのためにも普段の生活の中での会話を大切にしましょう。

❑ ご家族にも休養や支援が必要です

ご家族の方も心身を休めること、必要なときはいつでも支援を受けることも大切です。がん相談支援センターを利用することもできます。

国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所
もしも、がんが再発したら〔患者必携〕本人と家族に伝えたいこと(2012)

国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所では、患者さんやそのご家族の方をサポートする情報を提供しています。

家族ががんになったとき - がん情報サービス



もしも、がんが再発したら - がん情報サービス



治療をしながら仕事を続けるときに

■ まずは、配慮して欲しいことを整理しましょう

通院治療中も体調がよければ、仕事を続けることは可能です。まずは、どのように仕事を続けていきたいか、今後の見通しはどうかを整理してみましょう。病状の詳細まで伝えなくても、直属の上司には通院の頻度など、仕事をする上で配慮が必要なことは伝えた方がよいでしょう。治療と仕事を無理なく続けるために、配慮してもらいたい人とのコミュニケーションは大切にしましょう。

■ 休職中の生活を支援する制度を活用しましょう

療養のため仕事が続けられず、収入が得られなくなったときには、生活を支援する制度を活用しましょう。例えば、全国健康保険協会（協会けんぽ）や健康保険組合に加入している本人であれば、「傷病手当金」が受けられます。

■ 傷病手当金を受けるには

次の条件をすべて満たす場合に支給されます。

①療養のために仕事に就けない、②仕事に就けない日が3日以上連続している、③休職中に給与の支払いがない（給与の支払いが傷病手当金の額より少ない場合は差額のみ支給）。

また、支給される期間は、支給開始日から1年6ヵ月までです。

申請手続きは、勤務先から加入している健保組合へ行きます。

詳しくは、がん相談支援センターにご相談ください（p.25を参照）。

がん治療をしながら仕事を続ける方をサポートする情報も提供しています。

はたらく世代の方へ - がん情報サービス



高額療養費制度を活用しましょう

- ❑ 高額な診療が見込まれるとき、医療機関窓口での1か月の支払が最初から自己負担限度額までとなる方法があります。

●マイナ保険証を利用する

保険証利用登録を行ったマイナンバーカードで医療機関や薬局の受付をする場合は、特別な手続きはありません。



●保険証と限度額認定証を利用する

事前に保険者へ「限度額適用認定証」を申請します。交付された認定証と保険証を医療機関や薬局の窓口に提示します。

自己負担限度額を超えるか超えないかわからない場合でも、事前申請することができます。



❑「世帯合算」もできます

同じ月に、複数の医療機関を受診した場合や同じ世帯の方が医療機関を受診した場合、合算した額が自己負担限度額を超えていれば、超えた額が払い戻されます。

医療費の助成制度や支援に関する主な相談先

- 高額療養費制度の申請については、加入している健康保険組合や各自治体の相談窓口にご相談ください。
- 生活を支える助成や支援については、全国のがん診療連携拠点病院にあるがん相談支援センターにご相談ください。どなたでも無料で利用できます。最寄りのがん相談支援センターは、以下のWEBサイトから探すことができます。

相談先・病院を探す [がん診療連携拠点病院などを探す](#) - [がん情報サービス](#)



すぐに連絡していただきたい症状は

❗ 次のような症状があるときは、すぐに病院に連絡してください。

- 38℃以上の発熱(悪寒、ふるえを伴うことも)
- 手足のしびれ・痛み 感覚が鈍くなる
- 白目や体が黄色くなる
- かわいた咳 息苦しい・息切れ
- 目が赤くなる(充血) 唇、口内がただれる
- 赤く盛り上がる皮疹

緊急時に電話で伝える内容

- ①受診している診療科
- ②担当医師名
- ③診察券番号
- ④病名、いつエリブリンの治療を受けたか
(直近の治療日)
- ⑤いつからどんな症状がみられるか



※自宅ですばらく様子を見るように指示されることもありますが、症状の改善がみられないようでしたら、がまんせずに再度連絡してみましょう。

MEMO

This image shows a single page of white paper with horizontal blue lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins or other markings present.